



田代町企画管財課



人口の動き

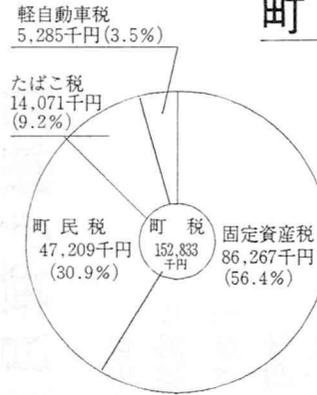
平成2年3月1日現在

住民基本台帳	増		減		前月 対比	
	出生	転入	死亡	転出		
男	1,883	0	4	2	4	△2
女	2,093	1	7	5	10	△7
計	3,976	1	11	7	14	△9
世帯主	1,435					1

鹿児島市たしる会 総会開催

(関連記事 5 ページ)

町税の状況



町税1人当りの負担額 38,439円

固定資産税	21,697円
町民税	11,874円
たばこ税	3,539円
軽自動車税	1,329円

(人口3,976人で計算)

町民一人当たりの予算額 391,161円

科目	予算額(千円)	構成比(%)	主な事業内容
農林水産業費	329,774	21.2	・遊歩道整備 ・迫田等整備特別対策(5地区) ・小規模排水対策(立神地区) ・公有林整備など
総務費	308,306	19.8	・庁舎建設 ・公用車更新 ・町総合振興計画作成など
公債費	226,172	14.5	・地方債の償還
土木費	178,522	11.5	・町道整備(原沢池野線他4件) ・学校共済住宅建設 ・急傾斜地崩壊対策事業など
教育費	161,535	10.4	・パソコン導入 ・保健室新設 ・青少年県外研修など
民生費	114,921	7.4	・社会福祉協議会運営補助 ・老人家庭奉仕員設置 ・保育園措置費など
消防費	66,767	4.3	・防火水槽新設 ・消防車庫階段改修
衛生費	61,347	4.0	・保健事業 ・ゴミ集収車購入補助など
商工費	51,771	3.3	・軽種馬育成センター共同モデル施設整備補助 ・花瀬公園グラウンド改修など
議会費	51,070	3.3	・議会運営
その他	5,070	0.3	・災害復旧費 ・予備費

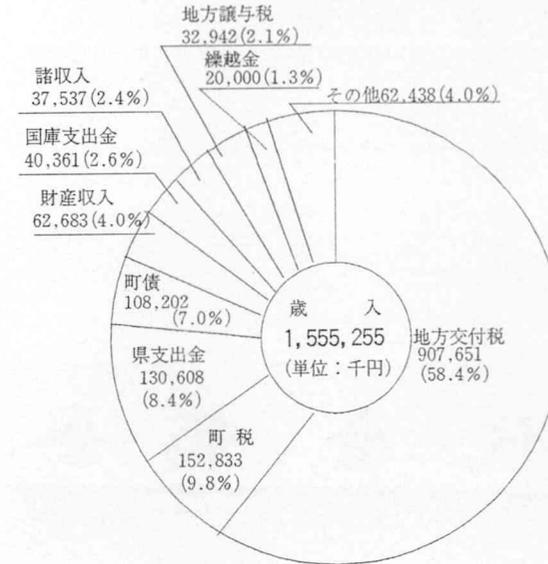
国民健康保険	3億9,779万2千円
老人保健医療	3億2,234万7千円
簡易水道事業	1,948万9千円

特別会計
7億3,962万8千円

若者に夢とロマンの里づくり

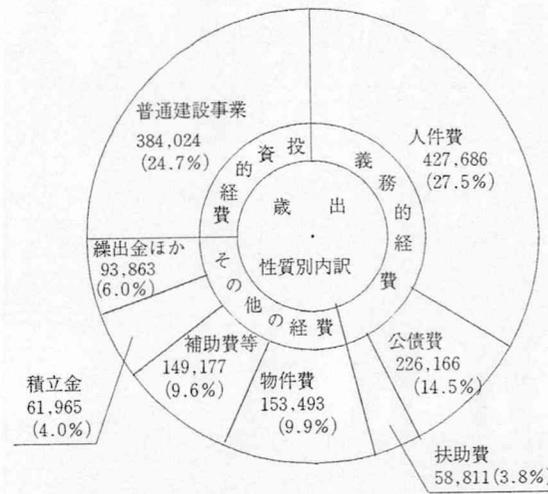
平成2年度一般会計予算は15億5,525万5千円

3月12日から26日まで開かれた3月定例議会で平成2年度の予算が決まりました。一般会計予算は15億5千5百25万5千円で前年度当初予算に比べ2千5百45万9千円、1.7%の伸びとなりました。



◆農林業
高齢化の進展等により経済社会が大きく変貌しつつある今日、町民の皆様の一歩を的確に把握し、増大多様化する要請に答えていくことを念頭に新しい予算が編成されました。

◆低コスト高品質農業の実現を基本としながら、経営規模の拡大等構造政策、国営農地開発事業をはじめとする農業基盤の整備を積極的に推進し、本町の特殊性を十分生かした農政を推し進めます。



◆庁舎建設
現在の庁舎は昭和二十五年に建設されすでに四十年近く経過し時代の進展に伴う行政需要の増大、町民サービス向上のための十分な機能を果たすことが極めて困難な状況となっており、町民の皆様の間からも庁舎建設の要望が高まっているなか昭和五十六年から庁舎対策委員会を中心に論ぜられ、平成二年二月十六日付けで庁舎の整備方針について積極的に建設する旨の意見書が提出されました。

◆老人福祉
高齢化の進行と高齢者を取り巻く環境の変化によって在宅福祉に対する社会的要求は強まり、その充実整備は行政の緊急課題となっています。そこで数年前から検討してきたデイサービス事業を本年度から実施したい考えであります。現

在の時点においては法人が建設するデイサービスセンターに対する国庫の補助金の見通しははっきりしませんが、今後の決定次第で対応する考えです。

◆企業誘致
田代高校跡地の田代日昌、やよい商会は昨年三月に操業が開始され、また大型コンクリート二次製品工場も近く操業の運びとなります。

さらに、軽種馬育成センターは昨年九月末から立木伐採、造成に着工し、同時に軽種馬協会の承認を得て調教馬場、馬房等の施設着工を行い、三月までにほぼ完成、屋内調教場の完成は、六月末の見込となっており、本年度は軽種馬育成センター共同モデル施設整備補助など三千万円余りを計上しています。

以上のようなことを主な柱とし、創意工夫をもって町の活性化、町民の福祉の向上に全力をあげるよう施策の推進にあたっています。

役場も毎月第2土曜日・第4土曜日が閉庁となります。

平成2年4月1日から

社会全体の労働時間の短縮気運の高まりの中で、金融機関の完全土曜閉店が実施され、また国や県でも毎月第2土曜日、第4土曜日の閉庁が実施されております。
本町も国、県に準じ毎月第2土曜日、第4土曜日が閉庁となりますので、町民の皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

経緯

▲昭和六十三年五月三十一日土曜閉庁方式が閣議決定され、現在月一回の土曜閉庁が実施されております。

▲また、県においても平成二年一月からの月第一、第四土曜日の閉庁を実施されてくる事は皆様もご存知かと想います。

▲県内の市町村に於いても、県の動向に準じ土曜閉庁が急速に動き出し、これを踏まえて所属郡内においても行政連絡を密にしなからこの対応を検討してまいりました。

▲また、郡内全町土曜閉庁の条例案を議会へ提案されました。

▲本町におきましても、県の指導により現在まで土曜閉庁に伴う四週六休制の試行、本格実施へと案例化をしておりますが、社会全体の労働時間短縮の気運の高まりの中で、平成二年四月からの毎月第一、第四土曜日を閉庁する運びとなりましたので町民の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

死し居るについての業務
休日については従来どおり死し居る業務は行きますので、厚けの際は、役場へご連絡ください。

なお、その他の用件については平日に済ませられるよう御協力方をお願いいたします。

役場新庁舎建設へ

― 利用しやすい ゆったりと ―

役場の現庁舎は、昭和二十五年建設され現在まで四十年を経過しています。建設当時は近代的な庁舎として注目を集めていた現庁舎も木造平屋建のため、シロアリ被害をはじめ、台風被害等により老朽化が進み建物自体の耐用年数も超えており、更に時代の進展に伴い、町行政に対する事務量も増大し、数回の増改築をくり返してきましたが、手狭で町民に十分なサービスを提供する機能が極めて低いのが現状です。

これらの状況を考慮し、田代町では昭和五十六年から庁舎対策委員会を設置し長期間の展望に立って新しい庁舎の在り方について関係の皆さま方が協議検討を重ねて現在に至っております。また先に実施いたしましたふるさと創生資金の活用方策に関する町民の皆様へのアンケート結果においても庁舎の新築を希望する

声が多くありました。新庁舎を整備するための意向をお願いしてありました田代町庁舎対策委員会から本年二月十六日付をもって、別途掲載の最終答申となった意見書が町長に提出され、本格的に計画案をまとめることになりました。

今後は、議会庁舎建設調査特別委員会並びに庁舎建設実行委員会を中心に具体的内容について検討を重ねていくことになりました。が、この間町民の皆様意向等を十分に反映し、より望ましく、より利用しやすい庁舎の建設に取り組みなければなりません。新庁舎の建設計画は、平成二年四月設計発注、十月着工を目前にしています。新庁舎の内容の構想は意見書を充分尊重した計画とし、今後逐次、町民の皆さまに公表しながら建設の準備をいたしますが、建設場所につきましては現庁舎の駐車場一帯を整備して建設する計画であります。

なお平成三年度は田代町の町制施行三十周年の記念

すべき年を控えて、各種の催し物が数多く計画されていますが、新庁舎の建設も平成三年度完成を目標としています。具体的な詰め計画に入り準備を進めてまいりましたが、町民の皆さまの御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

田代町庁舎整備方策に関する意見書

田代町庁舎整備方策について、田代町庁舎対策委員会条例(昭和五十六年六月二十五日条例第二十一号)に基づき田代町庁舎対策委員会を設置以来、当委員会において現在まで審議、視察等を重ねた結果、現庁舎は昭和二十五年設置されてから四十年余りを経過しており、シロアリ被害等を含む老朽化が進み、台風等の自然災害に耐え難く、又、今日の増大する行政事務の管理上事務面積が極めて狭小になっている状況等をふまえ、委員会として左記列

記のとおり意見書を提出します。

町当局においては、当意見書を参考にされ田代町民の福祉向上、円滑な行政の運営実現に向けて庁舎建設に取り組まれるよう切望します。

記

一、新庁舎は、平成三年度町制三十周年記念の年度を目標に建設されることを望みます。

二、庁舎の設置場所は、現在の役場敷地内が適当と思われる。

三、新庁舎は、耐久年数、安全面に十分配慮すること。

四、庁舎整備に関する財政計画は、基金等自主財源を有効に活用し、長期財政計画に基づき、一般事業等に大幅な影響のないような方策を講じることを。

五、新庁舎建設については、一般町民に広く広報し、住民の理解を得ながら計画を進めること。

六、新庁舎は、住民がより便利で利用しやすいよう

鹿児島市たしろ会総会

― 約七十名の参加で開催 ―



二月二十五日、鹿児島市たしろ会の総会が鹿児島市のパレスイン鹿児島において開催されました。

この日は、平成元年度の事業経過報告及び決算(案)平成二年度事業計画(案)及び予算(案)、役員改選、規約改正(案)等について協議がなされずすべて承認されました。

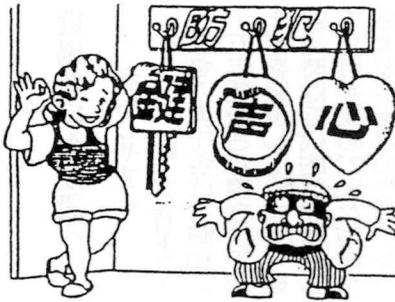
今年の総会には子供達が参加し花を添えてくれました。

お知らせ

ただいま
春の防犯運動中

外出の機会が多い時期。戸締まり、鍵掛け、隣近所への声かけ忘れず盗難予防。

少年非行防止は和やかな語りごと、規則正しい家庭生活から!!



交通事故半減めざし
『とまってる確認』

交通事故の半数近くは、交差点で発生しています。

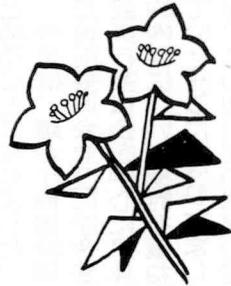
□ 1 交差点ストップ確認

□ 2 飛び出しストップ確認

□ 3 黄信号ストップ確認
とまってる確認、事故はなし!!

『広げよう安全の輪』

一年生になったなら月友達の二人でできるかな?交通安全はあなたが主役!

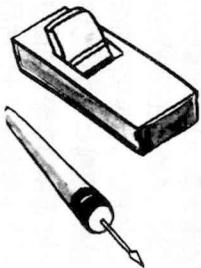


田代工友会より連絡

大工、左官の二十七名がメンバーとなって編成されている田代工友会よりお知らせいたします。

四月一日より就業時間が

八時から十七時までに変更され、工賃八千五百円となりました。



春の全国交通安全運動

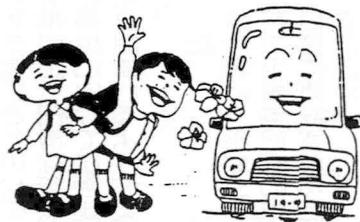
春の全国交通安全運動が、四月六日から十五日までの十日間実施されます。

この運動は、県民ひとり一人に交通安全に関する知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

運動は、人も車もとまってる確認を基本に、次の事項を重点に行います。

一、子供と高齢者の歩行中、自転車乗車中の交通事故防止

二、若年運転者による無謀



運転の追放
三、飲酒運転の追放
運転者は――
歩行者、特に新入学園児に対する思いやり運転を励行しましょう。

歩行者は――
道路を横断する時は、必ずとまってる安全確認をし、さっさと渡りましょう。

この運動を契機に交通安全の輪をさらに広げ、車を運転する人も道路を歩く人もお互いに相手の立場に立った「思いやりと譲り合い」の精神で、交通ルールを正しく守り悲惨な交通事故をなくしましょう。

教育だより

「私が考える
未来の田代町」
最優秀 中学生の部
田代中二年 福留 百代

今、各地の市町で過疎や高齢化がどんどん進み、深刻な問題になっているというところをよみテレビの特集などで見る事がありません。私は田代町もその内の一つなのではないかと思いました。まずそう思う一つの実例をあげると、私の兄の田代親しくしている友人などが、近頃結婚していきません。すると、数日してからその新婚さんの写真入りで、「下記において新生活を始めましたので、お近くへお越しの節は是非お立ち寄り下さい。」

などお越ししてあるハガキが届きます。下記において、と書いてあるので住所を見てみると、五組のうち一組くらいが町内で新生活を始めているみたいなのです。が、後の四組はというと、鹿屋市や大根占町などで新

生活を始めています。これは、兄の友人の場合であって、また町内にはこんな人たちがたくさんいるのではないかと思えます。

これだけを考えても、田代の人口というのは、「どっ」と減少してしまうとともに結婚していく人たちの大部分が青年団などの若い人たちであるため若者も一気に減少していくのだと思えます。それで、過疎や高齢化が進んでしまうので、まるで「一石二鳥」とはまったく反対の意味になってしまっているのではないかと思うのです。このままでは、田代町も年が増すにつれてどんどんイメージダウンするばかりです。

そんな事のないように現在の田代をみつめた上で未来の田代にむけて、いや、まだそれ以上にもいろいろの開発が進み、また何らかの大きな変化がなければいけないと思えます。もちろん、私が考える未来の田代町も脳裏に描かれています。欲を言えば、いろいろな設備が整えばいいなど考

えています。

まず、若者がよく行きそうな喫茶店やボーリング場や大規模スポーツセンターなどが整ったらいいなと思うし、また、いろいろな商店が並んでみてほしいし、子どもからお年寄りまでだれでも気楽に楽しめるような何かよい施設もできたらなとも思うのです。そして身近なことで私が本当にまじめに考えているのは、町のあちこちに街灯が立ってほしいのになと思うのです。学校から帰ったりする時など特に辺りが真っ暗だったりすると何かにぶつかりそうで恐々と歩かなければならなかったり、またいろいろな場合で何かと困るのです。

でも、未来の田代にこれだけの設備が整えばいいなとは思っても、いろいろな開発を進めるにはまずその費用というものがなければいけません。必要にしては人手も必要になってくると思うのです。また、いろいろな設備を整えれば、田代の大自然ともいえる緑がけずられて

しまふ恐れもあるし、よい事があってもその裏には、あらゆる悪い事がひそんであるみたいで、口先だけで未来の田代はあーなってこうなってというよりも、実際に真剣に考えるととても難しいものだとつくづく思うのです。今高齢化や過疎が進んでいるけれどこの町に住んでいる限り一人ひとりが田代町を発展させていくための大切な、そして、重要な役わりをしていくのだと私は思います。

赤ちゃんであっても、かごの中の鳥ではないけれど未来の田代を築いていくための宝物のような存在でありスクスク育っているのだと思うし、また学校で教育を受けている私たちは、将来社会をりっぱにしてい

ための重要な人物であり、そして青年や父母のみならずは現在の田代をになっていく大切な人々であり、高齢者の方々、これまでの田代を築き上げてきたのであってまた、これからはお私たちと田代をすばらしい町にしていくため重要な

第142回 高山木材共販相場表

TEL 0994-65-5234 平成2年3月15日市

長級	径級	ギ										平均単価
		主 材					間伐材					
		曲	安	中	高	直	曲	安	中	高	直	
40	3~10	9,000	17,000	18,000	19,000	16,000	15,000	16,000	20,000	15,000	18,800円	
	11~13		21,000	21,500	23,000	19,000	25,000	37,000	40,000	25,000		
	14~16		21,000	21,500	23,000	20,000	38,000	50,000	60,000	35,000		
	18~22 (タイコ)		20,000	21,500	24,000	20,000	40,000	55,000	80,000			
30	3~10		9,000	11,000	14,000	9,000	6,000	8,000	10,000	5,500	18,800円	
	11~13		14,000	15,500	16,000	14,000	15,000	18,000	25,000	13,000		
	14~16		21,000	21,500	23,000	20,000	30,000	40,000	50,000	30,000		
	18~22 (タイコ)		20,000	21,000	24,000	20,000	30,000	38,000	70,000			

役わりをして下さる方々だと思っております。これからの時代は、赤ちゃんから高齢者までみんなで力を合わせて手をとりあっていかなければならないと思えます。

そして、これから、いや今からでも、ここにいる私たちがこの田代町をどこのようにいけば過疎という難関から脱出することができるとか、田代町のあらゆる欠点を本当に自分の事のようにもってと真剣に考えていくべきだと思ったり、また考えていきたいです。そのうえで、争いなどない平和で素晴らしい田代町が築けていけたらと思うとともに、田代だけでなく世界中が永遠に平和である事を願っています。

ファミリーブランド

三月十一日(日)、晴天の青空のもと、十一チームが参加してファミリーブランドゴルフ大会が開催されました。好試合の中、大原下永寿会が見事優勝を飾りました。

田代町では例年「ジョギング大会」として行なわれていた行事を「完走歩大会」と改めて、一人でも多くの人たちがふるさとへの街や山々をながめながら、走ったり歩いたりして楽しみ、さわやかな汗を流そうと計画しました。

期日は、三月十八日(日)。中央運動場を九時スタート。一キロ、三キロ、五キロメートルの三コースを皆完走歩しました。一キロには親と子が仲良く手をとりあって走りました。中でも原沢昌平君二才(父・幸朗)と舞原琢也君二才(父・利博)がよちよちと一キロを走りぬき、さかんな拍手をうけていました。

三キロの部は、一般二名と田代中バレー部やスポーツ少年団あわせて五十一名が出走、五キロの部は一般三名と田代中野球部、その他あわせて二十一名が出走してそれぞれが自分の体調にあわせて全員が完走歩し



開会式の様子

大会役員の皆様方、本当にありがとうございました。



ごくろうさんでした



もうすぐゴールだね



よしがんばるぞ!!

平成二年ふるさと完走歩大会

ました。

田代町ではまたまたこうした行事には関心がうすく、ひっこみ思案もあわせて、一般の参加が非常に少なくいまいち盛りあがり欠ける大会です。来年は、ぜひ参加して下さい。成績は次の通りです。

- ※三キロの部
 - 一位 竹 信人(大原小)
 - 二位 川路雄介(田代小)
 - 三位 猪鹿倉洋昭(田代小)
- ※五キロの部
 - 一位 原口良一(重岳)
 - 二位 竹 要人(大原中)
 - 三位 益満宏昭(田代中)

〈大会テーマ〉

「心豊かな家庭
活力あるふるさとづくり
やる気と英知を結集しよう」



町婦人会歌を歌う会員の皆さん

三月七日(木)、平成元年度田代町婦人大会が町開発センターで約三百名が参加し、盛況に開催されました。協議の後の体験発表では、「私が歩いた道」と題して久木野婦人会の石原ユリ子さんが今までの我人生を語り、感動の涙を誘いました。その後、「ぬくもりと連帯感」というテーマで大隅町立笠木小学校長の肥後義弘先生に講演をいただきました。



婦人会活動の大切さを説く肥後先生

肥後先生には、「婦人会活動は生きがい学習である」ということなど、これからの婦人会活動に多くの示唆を与えていただきました。最後は、昼食をとりながらのレクリエーション。恒例の婦人会長さん方の踊りや寸劇などで愉快なひとときを過ごしました。これからの地域における婦人会活動の大切さを再確認した一日ではなかったかと思いません。婦人会の皆様方の今後のより一層のご活躍を期待します。

青年教室開催

〈郷土料理づくりに挑戦〉
三月三日(土)、午後一時より町内の青年男子十名が参加し、鈴木イツ子さんと久保クミさんの指導のもと、豚骨などの郷土料理づくりにチャレンジしました。夜は、「ひな祭りの夕べ」を開催し、女子青年に料理の批評をしてもらいました。料理、企画共に好評の一日でした。



お世話になっています



でこんを切っともむっかし

転入 (よろしくお願ひします)

新任校	職名	氏名	旧任校
田代小	教頭	西村 隼 男	始良・加治木小
〃	教諭	白川 猛	〃・国分小
〃	〃	下村 ゆかり	指宿・丹波小
大原小	〃	牧原 美代子	肝属・古江小
田代中	〃	馬渡 尚子	出水・出水中
〃	〃	武田 佳弘	曾於・末吉中
大原中	〃	窪田 正文	日置・郡山中
〃	〃	山元 努	鹿市・城西中
町教委	指導主事	米澤 光洋	大島・金久中

転出 (お世話になりました)

新任校 及び退職	職名	氏名	旧任校
北薩・永野小	校長	平原 年一	田代小
川辺・加世田中	教諭	西 哲也	〃
曾於・持留小	〃	西川 スマ	〃
肝属・川上中	〃	川枝 武満	田代中
〃・鹿屋東中	〃	渡辺 節雄	〃
曾於・月野中	〃	有馬 健	大原中
始良・吉松中	〃	枝本 幾子	〃
鹿市・市民体育館主査	社会教育主事	山元 元	町教委

鹿児島県教職員人事異動(田代町関係)

スポーツ安全協会傷害保険加入のお願い

町教育委員会では、町民の方々が安心してスポーツに親しんでいただくために、スポーツ安全協会傷害保険への加入をすすめています。

このスポーツ安全協会傷害保険は本町では主に小組合単位でスポーツ活動を行なう団体か、同好会組織でスポーツ活動を行なう団体での加入をすすめており、この場合、一人につき年間一、一五〇円を小組合長や

体育部長、あるいは同好会グループの代表者を取りまとめていただき、直接銀行に振込んでもらうというシステムになっています。保険の期間は、平成二年度は四月一日から来年の三月三十一日までになっていますので、できるだけ早い機会に加入していただくようお願いいたします。

尚、詳しいことについての問い合わせは、田代町教育委員会まで。

5人以上のグループでこの保険に加入できます

保険料
 ■スポーツ少年団、子ども会など中学生以下の子どもグループ……………360円
 ■文化活動、奉仕活動のグループおよび高齢者のスポーツグループ(ゲートボールなど) 500円
 ■ママさんバレーなどの地域スポーツグループ、高校の運動部及び大学・会社などのスポーツ同好会など……………1,100円
 注：ほかに学生連盟、実業団連盟に所属する団体の加入も扱っています。

保障の内容

傷害保険	死亡・後遺障害	最高1,400万円
	入院(1日当り)	4,000円
賠償責任保険	通院(1日当り)	1,300円
	支払限度額	対人 1億円 対物 500万円

対象となる事故
 ■グループ活動中の事故 ■往復途上の事故
 保険期間
 ■平成2年4月より翌年3月31日まで
 (申込受付は3月から)

健康だより

「肺気しゅ」喫煙歴の長い中高年に多い

高齢化社会を迎え、肺気腫がふえている。肺の末端にある肺胞がこわれて呼吸困難を伴う病気だが、50歳以降の喫煙者に多いのが特徴だ。

肺は呼吸に伴って膨らんだりして、酸素と炭酸ガスを交換する働きをしているが、その主役が肺胞で、肺胞のこわれた状態を肺気腫という。

原因は不明な点もあるが、肺気腫は喫煙歴の長い人に多く、喫煙が原因の一つになっているのは確かだ。

「破壊された肺胞は元に戻らないので早期発見が大切です。」

初期症状は、階段を上ると息切れがすると言った程度だが、ひどくなると着替えや洗面でも息切れする程、日常生活に支障を来すようになる。又進行に比例して体重が減少する。

さらにこの病気は気管支炎を合併しやすく、合併するとせきやたんを伴うだけで

なく進行を速める。又胃かような合併したり、心臓の働きを弱めることもある。

▲命にかかわることも

肺気腫は、ともすれば生命にかかわりかねないうえ、一度破壊された肺胞は修復できない、まず早期に発見する事が大切だ。

「喫煙歴の長い高齢者が同年代の人と歩いていて、息の切れ方が他の人よりも早いと感じた時には呼吸器内科を受診した方が賢明です。」

診断は、肺機能検査やレントゲン検査に加え、選択的肺胞気管支造影法という検査法でつく。

治療は、進行を止め、残された肺胞を活用する治療法がとられる。具体的には、気管支炎の合併を防ぐため、気管支拡張剤や去たん剤と言った薬治療法、呼吸筋をきたえるトレーニング等も行なわれる。

▲予防するには

「日常生活では、喫煙者が喫煙するのはもちろんのこと、空気の悪い人ごみはさ

けること、又破かいされた肺胞をカバーするため、呼吸に大量のエネルギーを消費するので、消化がよくて栄養、カロリーの高い食生活を心がけることです。さらに予防には、やはり、禁煙が第一です。それも若い頃から禁煙するようにおすすすめします。四月新年度、思い切って「禁煙宣言」はいかがでしょうか！
「たばこを吸うお年寄りの方!!御注意を」

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

「お詫び」

三月号の田代町畜産振興大会の記事中「舞原幸一」さん、「宮園清吉」さんとありますが「舞原幸一郎」さん、「宮園清蔵」さんの誤りでしたので訂正してお詫び申し上げます。